

なかしゅんべつ

2011

7

No.402



目次

中春別農業協同組合第37回通常総会 2～5

中春別酪農対策協議会第36回通常総会 6

青年部のページ…………… 7

女性部のページ…………… 8～9

フラインビューファーム物語 10～11

JA中春別乳牛共進会 12～13

年金友の会「春季旅行」…… 14

中春別小学校運動会、豊原運動会 16～17

営農対策情報…………… 18

わが家のアイドル…………… 20

人員配置図…………… 24

理事会…………… 27

今月のアイドルは、夏の暑さに負けず元気いっぱいの上田家に訪問致しました。

生産基盤の充実に力をそそぎ、 一歩一歩着実に健全な酪農経営を



総会に先立ち優良組合員、乳質改善・良質乳生産組合員、経営移譲感謝状授与者、永年勤続職員の表彰授与が行われました。

開会にあたり小湊組合長より「東日本大震災から約3カ月を経過しておりますが、あらためて、甚大な被害を受けられた被災地の皆様に対し、心よりお見舞いを



挨拶を述べる小湊組合長

申し上げますとともに、数多くの亡くなられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表します。

今後において、満身創痍の被災地が、新たな復興を

遂げられることを祈願する次第でございます。

さて、国内の近況であります。我が国の経済は緩やかに回復しつつあるものの、海外経済の減速や国内での耐久消費財に関する減税政策効果の反動要因に加え、急激な円高や更には大震災、原発事故等の影響もあり、景気回復の動きは弱まっております。

宮崎県で昨年4月に発生した口蹄疫は、ワクチン接種による屠殺を含めると、牛・豚を合わせて被害は29万頭にのぼり、8月には終息宣言がなされ、今年2月には清浄国として認定されておりますが、近隣諸国ではい



まだに発生が散見されております。

この1年で「家畜伝染病予防法」の改正がなされてきましたが、現在、被害農家のうち、経営再開ができたのはまだ半数と、酪農・畜産復興の厳しさが表れております。

改正法により海外からのウイルス侵入防止対策も強化されておりますが、あらためて当地域一体となった防疫対策の重要性を認識し、組合員の皆様には、消毒槽の設置や敷地内出入り口への石灰散布など、自ら防疫対策を徹底するようお願い申し上げます。

農業を取り巻く情勢です

が、国際情勢は、昨年10月に首相が衆参両院本会議における所信表明において、環太平洋経済連携協定に参加検討することを突如述べられ、農業界のみならず、関連産業他激震が走りました。

その後、政府は本年5月に、東日本大震災後の重要政策の工程表となる「政策推進指針」を閣議決定し、TPPへの交渉参加の判断時期を当初の6月目途から先送りする一方、新成長戦略は見直した上で、年内に具体像を示す方針となりました。

国境措置やセーフティネットの確保

国内の農業は、食料自給率の低下や農業所得の減少、経営環境の悪化や高齢化により、生産基盤の弱体化が進んでいるのが現状であり、関わる国内議論を慎重かつ充実を図り、牛乳・乳製品をはじめとする重要品目に対しては、適切な国境措置やセーフティネットの確保が必要であります。

このような中で、昨年3月に閣議決定された新たな

「食料・農業・農村基本計画」では、食料自給率を10年後に50%まで引き上げ、意欲ある多様な農業者の育成や、戸別所得補償制度を導入するとされており、一方では我々主産業である生乳生産の目標数値は大幅に下方修正されております。

平成22年度を象徴するように、口蹄疫の脅威、異常気象、更には大震災による津波や原発事故など、わが国の安全が脅かされ、改めて国民の命をつなぐ食料の重要性と盤石な供給責任による体制の確立が再認識されております。

酪農畜産にあつては、昨年度、需給緩和に対応したチーズ向け拡大や置換え対策を図り、量の確保はなされたものの、販売対応等により結果としてプール乳価が4円20銭と大きく低下するとともに、猛暑による生産基盤の脆弱化や穀物原料等の高値推移により、酪農経営は厳しい年となりました。

こうしたことから、本年度の用途別乳価は、全国的

な震災による今後の影響は極めて不透明であります。飲料需要期における需給対応や乳製品需要期における原料乳の供給体制を万全にする必要があり、生産基盤の維持・拡大のためにはプール乳価の引き上げが必要不可欠であります。

平成23年度の酪農畜産政策・価格対策については、加工原料乳生産者補給金単価はキロ当たり10銭引き上げの11円95銭、その対象となる限度数量は185万トンと据置きで決定されております。

環境負荷軽減支援事業の奨励交付金

液状乳製品向け対策の継続拡充については、チーズ向けに特化し、拡大部分に対する奨励措置から、全量に助成金を交付される改定がなされており、加えて従来の資源循環型酪農推進事業が組み換えされ、ポイント制を導入した環境負荷軽減支援事業の奨励交付金となりました。

ここ近年、国際的な経済

事情が短期間で変化しており、加えて想定外の影響も懸念されるようになりました。

今後、配合飼料価格等の生産資材価格が高騰するなど、

情勢に大きな変化が生じた場合には、酪農・畜産物価格等の期中改定において、機動的な対策の検討が必要とされております。

平成22年度の地区内の生乳生産実績は、11万5906トンで、前年度99.8%の実績でありました。第7期生乳安定生産対策の2年目は、猛暑による乳牛への影響と、粗飼料の品質低下による乳量の落ち込みが懸



真剣に聞き入る組合員の皆さん

念された年でありましたが、生産の維持向上に関わるご努力に対し、敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。

本年度の生乳需給は、體的に用途別需要量が従来の方向性で引き続き推移する見通しと言われており、

一方では供給が需要を下回ることも見込まれるため、平成23年度の生乳生産目標数量は、総体で前年度実績100%以上の確保ができました。

毎年のことながら、天候不順も心配されますが、後につなげるためにも、目標数量の達成を切願しているところであります。

地域特産乳製品の需要拡大

重点項目の一つにも掲げております、地域特産乳製品の需要拡大におきましては、関東方面を中心とする生活クラブ連合会への中春別産生乳を使用した「べつかいバター」の供給と「低脂肪牛乳」、「餃子」のオリジナ商品と、関係機関の協力を頂き、販売を開始しております。

乳質改善を始め、ポジティブリスト制度やトレサビリティなどの取り組みは、組合員の皆様にとつて、毎日お忙しい中で大変とは存じますが、これら一連の取り組みが「安全・安心」を消費者に理解して頂く近道であり、

生産から販売までの足掛かりとして、また、消費の拡大につながるものとして、ご理解、ご協力をお願いするところでございます。

時代背景がどのような状況下であろうと安定した酪農・畜産経営を営んでいくためには、まずは、自らの原点、理念、強みを見失うことなく、地に足を着けて着実に実践していかねければならないと同時に、先人達の汗と努力の結晶である「中春別酪農」の資源「土・草・牛」の生産基盤に、新たな付加価値を付け、次の世代に継承して行くことが肝要であると思えます。

特に、草地型酪農として、良質な自給飼料を主体とした低コスト経営の確立は、地域の強みとして、必ずや、明日の酪農・畜産経営の糧となると信じております。

一方、J・Aを取り巻く情勢は、安全・安心な食料の安定供給や環境保全等、J・Aに対する国民の期待が高まる中で、行政刷新会議のもとに、「規制・制度改革に関する分働会」と「農業ワーキンググループ」が設置され、

第1次答申の5項目に加え、農業分野の中期的検討として、4項目を新たな検討課題とすることとなりました。これらを見ても、特に農村地帯でのJ・Aの役割を、農業・農村の振興を含めて、国民に理解を求めていくことが重要となっており、また、企業会計の導入など、

より経営管理の厳格化が求められており、法改正・外的規制が加速する中、これまでの「協同組合の経営」に変わりがもたらされております。経営収支・財務基盤の健全化は当然であり、

部門別採算性の強化や内部統制の在り方、不祥事未然防止対策に向けたコンプライアンスへの取り組みも、一層の強化が必要とされております。

農家経営の再構築と組合財務基盤の強化

本年度は、平成22年度から平成27年度を目標とした地域農業振興計画である「地域農業ステップ・アップ計画」と、平成24年度を目標とした「第8次中期経営計画」の実施2年目となることから、

より具体的に実践推進すべく「農家経営の再構築」と「組合財務基盤の強化」などを柱に取り組んでまいります。

なお、平成22年度のJ・Aの事業成果につきましては、補給金を含めた総販売高が112億円を超え、期中での事業分量割戻に加え、計画以上の実績を挙げることでございました。これも、組合員とご家族皆様の日頃の弛まぬ努力と、J・A事業へのご理解、ご利用の賜と、深く感謝する次第であります。

後ほど議案の中でご説明をいたしますが、磐石で強固な財務基盤構築のため、剰余金の大部分は自己資本増強のため、昨年と同様、内部留保にすることを、組合員の皆様にお願ひするものでございます。

農業経営にとつて、厳しい環境のもとではあります、組合員あつてのJ・Aであり、健全なJ・Aであつてこそ、組合員への支援も出来得ると思っておりますので、一層のJ・A結集とJ・A利用について、改めてお願ひを申し上げます。

そして、本總會に向けては、



各農事組合長を中心に、組合員皆様の多大なるご理解を頂き、本日、こうして議案の提出が出来ますことを、感謝いたします。

組合員の生産基盤の充実に力を注ぎ、外的要因に影響される今日の酪農畜産ですが、怯むことなく果敢に立ち向かい、一步一步着実に健全な農家経営、並びにJA運営を築き、スローガンであります「活気と潤いに満ちたゆとりある中春別」の振興と更なるステップ・アップに、全力を注ぐ所存でございます。どうか、組合員皆様のご支援を含めて、宜しくお願い申し上げます。

結びになりますが、行政を始め、系統連合会、並びに各関係機関に対しまして、今後とも、より一層のご指導とご支援を、心からお願いを申し上げます」と挨拶がありました。

引続き根室振興局産業振興部農務課長・三上英樹氏、別海町産業振興部部長・土井一典氏、北海道農業協同

組合中央会根釧支所長・横田勝美氏よりそれぞれ挨拶をいただきました。

議長には中春別地区・小原義男氏、豊原地区・伊藤一吉氏が指名され議事に入りました。

議案第1号 平成22年度



事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認から議案第6号農地信託規定の一部変更について提出された、全議案可決承認され、併せてT P P参加阻止の特別決議を総会参加者全員の賛成により決議されました。

閉会にあたり、兼松副組

合長より承認をいただきました平成23年度基本方針・重点項目・特別決議したT P P参加阻止について、役員一体となつて取組んでまいり所存でございますので、組合員の皆様方におかれましては、より一層の組合の結束と連携をお願いするところでございますと挨拶がありました。

平成22年度

優良組合員表彰者

（有）寺井牧場

乳質改善・良質乳生産組合員表彰者

高井猛正

藤原 清

佐藤樹元

経営移譲感謝状授与者

妻沼忠紘

岩瀬賢介

永年勤続職員表彰者

（30年勤続）

小湊良昭

成田幸治

山田幸夫

永年勤続職員表彰者

（20年勤続）

田淵吉明

岸田真由美



地域の特性を活かし、 実効性のある運動展開が必要

中春別酪農
対策協議会
第36回通常総会

5月23日、中春別酪農対策協議会(会長・望月英彦)では、農業者団地センターにおいて、西原町議、小湊組合長の来賓出席の中、第36回通常総会を開催いたしました。

開会にあたり望月会長より、3月11日に発生した東日本大震災において未曾有



挨拶を述べる望月会長

の大震災となり、甚大な被害を受けられた皆様に対し、お見舞いを申し上げます。4月には宮崎県において10年振りとなる口蹄疫が発生、10月には首相の所信表明でTPP交渉の参加が取りただされ、食料供給政策の方向性が極めて不透明な状況におかれており、TPP交渉参加には断固反対するところであります。平成22年度は、加工原料乳限度数量の削減に加え、生クリーム

をさせていただきました。また、農林水産省畜産局に対し「国営環境保全型かんがい排水事業」の早期着工を要請いたしました。道農政部とは、交付金全般について当地域の必要対策を中心に提言し、中でも基盤整備事業に関わる対策について、必要に応じて中央につなげていただくべく要請を併せて行いましたと述べました。

全道・地区酪対に関して、次期生乳生産安定対策を始め、価格・関連対策における組織討議に積極的に検討し、各地区代表選出の中央要請にも協調して取り組み、現状を捉えた中では、恒常的対策の確立と地域特性を踏まえた政策要求に向けて実効性のある運動展開が必要との認識を示しました。日頃より会員各位の理解とご協力に感謝を申し上げます。

議長には豊原地区・北田充氏が選出され、議案第1号から4号まで全て可決決定されました。平成23年度の新役員構成は次の通りです。



向け等乳価値下げの影響更には夏の猛暑による影響で乳成分や乳質の低下を招き、用途別原料乳プール価格が4円20銭の下落となりました。

活動内容は、衆参両院の先生方に2度の上京農林水産省生産局と特に生乳関係の問題に対し要請運動、意見交換

を踏まえた政策要求に向けて実効性のある運動展開が必要との認識を示しました。日頃より会員各位の理解とご協力に感謝を申し上げます。

- 会長 望月英彦(再)
- 副会長 伊藤一吉(再)
- 副会長 寺井隆二(新)
- 副会長 原内修(新)
- 会計 松井和孝(再)
- 監事 渡邊 覚(再)

新しい仲間との交流会

新人歓迎会

今年度新たに青年部に加入した部員を対象とした、新人歓迎会を5月31日(土)旧豊原小学校で開催致しました。

今年度は新たに5人の新入部員を迎える事となりました。



した。

最初に体育館で3チームに分かれてのミニバレー交流会を行いました。

最初は緊張した面持ちの新入部員でしたが、チーム戦との事

もあり、

いつの間にか皆さんチームプレーができるほどの団結力をみせていました。部員の中には「久々にミニバレーをやったが楽しかった」などといった言葉も飛び交っていました。

ミニバレーを終了後には、昼食も兼ねて焼肉に舌鼓。和やかなムードの中、話に華を咲かせ、先輩部員との親睦を深めている中、改めて部員、新入部員ひとり一人が自己紹介を行い、新入部員からは「今後とも青年部活動に積極的に参加していきたい」と力強い抱負をいただきました。

今後も青年部活動を盛り上げていくためにも青年部員みなさん一丸となって頑張っていきたいと思います。



白熱した試合になりました

農協男性職員と青年部のソフトボール交流会

青年部(金子琢哉部長)では、6月18日(土)中春別小学校のグラウンドをお借りし、農協男性職員と青年部員の親睦を深めるためソフトボール交流会を開催致しました。

30人以上の参加者のもと開催された交流会ですが、当日はあいにくの曇り空。雨も降ってきたそうとの事で予定時間よりも少し早くのゲームスタート。

先制点を取ったのは青年部員チーム。日頃から農作業で培ったパワーの違いを見せつけられました。しか



し、半数以上が現役農協野球部員である職員チームは負けるわけにはいきません。後半になり怒濤の反撃！青年部員チームも食らいつくといった白熱した試合の中、ゲームセット。接戦の末、10-9で職員チームの勝利で終わりました。

ソフトボール終了後にはヘルスパークにて、焼肉を行いました。

今回の交流会を通し職員、青年部員の関係がより良いものになったのではと思います。皆さんお疲れ様でした。

これからの活動に取り組んでいきたい

そよかぜ・女性部合同視察研修会

女性部とボランティア組
織そよかぜでは6月13日(月)、
別海町にある小規模多機能
ホーム・育成会のえがおと
グループホーム・育成会ま

ごころにて合同視察研修を
開催いたしました。
当日は11人の方が参加さ
れました。施設の一室で簡
単な説明を受けた後に、そ



それぞれの施設内を説明を受
けながら回り、昨年できた
ばかりの新しい施設に皆さ
ん関心された様子で「すご
いねー」「こういう風にな
っていると使いやすくてい
いね」という声があがって
いました。また、担当者の
方より「地域のボランティア
の方もたくさんお手伝い
に来てくれています。皆さ
んもお話をしたり散歩のお
手伝いなどをしてけると
とても助かります」とお言
葉をいただき、「難しそう
だけど、今後の活動に取り
入れていきたい」という意
欲的な声も聞こえ、より一
層、活動に力がいいる研修
となりました。

ボランティア組織そよか
ぜでは、この他にもお誕生
日はがきの送付やウエス寄
付、声掛け運動などを行っ
ています。そよかぜの活動
に興味がある方は、お気軽
に営農振興課までお問い合
わせ下さい。

農家の生活をこれからどう 変えていくか

J A根室地区女性部研修会

6月14日(火)、中標津町ウ
エディングホール寿宴にて、
J A根室地区女性部研修会
が開催され、当農協女性部
からは7人が参加しました。
今回の内容はKS企画代
表・河合知子氏を講師に招



き、「牛乳を搾る暮らしと
飲む暮らし」～根室管内お
嫁さんアンケートから見
る農村生活」と題して講演会
が行われました。

近年、農家のお嫁さんの
立場、環境は以前より改善
されてきているとはいえ、
結婚してからの大変さにつ
いてお嫁さんの悩みは深刻
なことも…。アンケートの



結果を参考に管内農家のお
嫁さんが考えていることを
読み取り、農家の生活をど
う変えていくか、基本的な
考え方を変えてみるという
河合氏の講演を参加者は真
剣に聞き入っていました。

的確なアドバイスで、 素敵にできあがりしました

寄せ植え
講習会

6月16日(木)、農協女性部木の実部会(部会長・平林美知子)、園芸グループ(リーダー・中村及子)合同で寄せ植え講習会を開催。講師にハートフラワーチャリティーから篠田卓氏、日塔久子氏、青坂祐美子氏を講師に招き開催致しました。

参加者それぞれ持ってきた鉢に合わせ、お花選びから始めます。「色の系統で探すと選びやすいです！花を置く場所をイメージして選びましょう」と先生の言葉を聞き、「これはどうでしょうか？」と積極的な参加者。「花の高さも見て鉢に置いてみましょう。鉢が高いと下にたれるお花もいいですね」と次々とアドバイスをもらいました。



今回使った土や肥料は100円ショップに小さい袋で売っていたり、大きなものだとホームセンターやお花屋さんにもあり、手頃な値段で変えるものなのでぜひ参考してみてください。

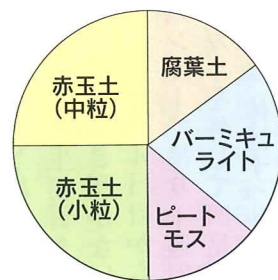
土の作り方

1. 赤玉土を中粒と小粒を同じくらいずつ混ぜる。中粒だけだと土が粗くなってしまうので混ぜて使うのがベストです。

用意

赤玉土(中粒・小粒)	腐葉土	パーミキュライト	ピートモス
土が粗いので根に酸素が入りやすくが育ちやすくなる。	栄養を持っている土。	無菌の土で保水性がある。乾きやすいので根腐りを防ぐ。	花が好む弱酸性です。土に入れてあげると花が喜びます！

2. 続いて腐葉土、パーミキュライト、ピートモスを混ぜていってください。割合は円グラフを参考にしてください。



合は円グラフを参考にしてください。

お花を植えます

1. 底が見えなくなる程度に鉢底土を入れます。(鉢の深さによって調整してもいいです)
2. 鉢底土が見えなくなる程度に先ほどに混ぜ合わせた土を入れます。
3. 花を好きな場所に置いていきます。
一方方向からお花を楽しむ場合、高さのある花を鉢の奥に置き、手前に低い花を置くとバランスが良くなります。いろんな方向から鉢を見る場合、背の高い花を真ん中に置き鉢の周りに低いお花を囲むように置くといいでしょう。
4. 鉢の隙間に混ぜ合わせた土を入れ、隙間ができないように土を棒などで



5. 仕上げとして、肥料のマグマンブを二つまみ、防虫剤のオルトランも少量土のうえにパラパラと撒きます。
6. 最後に雨が降ったときに土がはねないように、インテリアバークを土の上に置くと完成です。たくさんお水をあげて好きなところに飾ってください。



リーダーがまた倒れた

リハビリ

乳牛管理の極意は「牛に聞け」の一言に尽きると思います。牛の出す「サイン」にいかにか早く気づき、対処していくかだと思います。私は1頭の牛を通して貴重な経験、勉強をさせてもらいました。拙文ですが、体験記として記載させていただきます。



2009.9.17「自立」

「リーダーがまた倒れた」

「リーちゃん」こと「ファインビューメニユーサベージ リーダー」は、平成15年7月生まれで我が家では初めて体格審査90点をいただいた愛牛である。

今年の2月16日夜の搾乳時、突然起きられなくなった。ただの寝起きの失敗かと思つたが、そうではなく体に力が入らない様子でズルズルと飼槽を動いて牛舎中央で急患の点滴を受けた。

「リーダー」は正月3日に分娩したが、その数日前から食欲が落ち前日の2日から治療を続けていた。大好きな配合が食べないのであ

る。「3、4キロ食べれ」と言っているのではない。1キロの配合が食べずそっぽ向く状態が続いた。その間も草は、むしやむしやと美味そうに食べていたのだが、乳量が30kg、35kgと出てくるとどうしてもエネルギー不足、点滴で保っている。2月になり状態も良く安定してきた。上向いてきて、その日もN・S獣医師が他牛の診療で来て「よさそうだね」とリーダーを見た、その晩である。私も獣医さんも「何故、何故」疑問符が並んだ。

牛舎の中は、コンクリート、バンクリーダーと危険だし、外の雪の上ならば起きられるかもしれないと外に出してみたが、やはり力が入らず、ずれるのがやつとである。背中に毛布をかけてやり、口元に草をおいてやった。2日かけて最後は、トラクターで引きずって雪の降る中、分娩室に収容した。体温は、36℃と低体温、危険な状態であった。分娩室がリハビリ室になった。

リーダーは、一昨年の夏に倒れている。3カ月かかって牛舎に復帰したという前

科、そして戦歴がある。5産目分娩後1カ月で共進会に出場すべく、暑い中調教などをした無理がたたり「いざ出陣」という家畜車で寝込んでしまった。原因はエネルギーのバランスの崩れによる「ケトージス」、そしてトラックから降ろす時に暴れたことによる筋肉の損傷が、血液検査の結果からは「かなり厳しい」とO獣医師から聞かされた。「長丁場になりますよ」とも、でも不思議と「大丈夫だ」と思えた。

しかし連日6、7本の点滴、そしてリーダーは横倒しで倒れている。見に行く度に頭を起こしてやるが、どうも1日の大半を倒れている様子である。横になると「ガスが溜まる」と言われるけれど、もがくのかそれはない様だが、痛く、苦しく擦り傷もできて抗生物質も使用した。体の置き所がないという感じだ。4日目からカウハンガーで吊り1週間ハンガーを外して四足で立つた時は、体はすっかり痩せて、目は地面にぶつけて腫れ上がりひどい姿であった。「これで「安心」と言って喜

んだが、それから先の長い治療の序章にすぎなかった。一進二退とハンガーをかけるのを、「今日はやめておきましょう」とかなり落ち込む日もあった。行事、用事は全てキャンセル、ヘルパーの休日も世話にあたった。暑い最中であり、私は3kg体重が減り、バテ気味、こっちが倒れそうだ。

9月に入り、乳房炎で熱も上がり、立っている間に手搾りを始めた。そして9月11日ついに自力で起きることができるようになった。雲がさつと空いて青空が広がった「そんな気持ちである。ただ立ち上がるだけの行為がこんなに難儀なことなのだ。自分で立つ、まさに「自立」とは尊い。

10月からは、T氏から携行のミルクポンプを借りて搾乳(18kg程/1日)をした。10月31日、外の牛達が騒がしいと外を見ると、リーダーがバタバタと走り回っていた。後肢はナックル気味なのでカクラカクラしながら、もう一度D型に入れるのもかえって危険だと思い、牛舎の定位置に戻った。ほぼ



2011.5.25「4女と並んで」

3カ月のリハビリを見事にやり遂げた。たいした奴で

農村の景観美化を積極的に推進

平成22年度
中春別サブ集落総会



去る5月10日に中春別サブ集落総会が開催されました。山崎浩二集落長の挨拶の後、議案に入り、第1号から第3号にかけて全議案可

ある。

リーダーは、一昨年の8月7日の事故の後、トラックから降ろした時、目の前のかまぼこ型のD型ではなく横の建ち上がりがあり、側に開口部のあるD型に入ってしまった。そのことが暑い夏を乗り越えることができなかつた要因であり、こちらがそろそろ牛舎に戻す方法を考えていた矢先、自分で「もういいかな」とばかりに線を破り自分の場所に戻った。笑ってしまった。すごい生命力だ。

年が明け1月末に採卵、

3月に授精した。440日

搾乳、そして3カ月の乾乳期、今までになく太った。それが今回の起立不能、肝臓がまいってしまったのだろう。しかし血液検査からは「特に悪いところはない」とのこと、数日点滴を受けただけで、数日後は、「お灸」を腰に6カ所程行つてからハンガーを使い立たせてやった。「もぐさ」からモクモクと煙が上がると熱いはずなのにじつとしていて、むしろ気持ち良さそう。ハエ1匹体に止まっても尻尾を振る牛の皮膚感覚からすると「ひよつ

とする」とである。そんな20

日の後、いつものようにお灸の時、むくつと立ち上がった。M・S獣医師には、何よりの恩返しになろう。見せてくれる、たいした奴だ。

毎年、多くの牛達が牧場を後にする。そして毎年、「初めて」を経験する。全て私が哺乳をして育てた娘達、長くてせいぜい10数年の付き合い「できるだけのことをしてやる」、それが救えなかつた命に対しての契りであり報いである。

「リーダーどう？」と声を

かけてくれたり、見舞つてくれる仲間がいる

2カ月の間、カウハンガーを貸してくれた隣人がいる

根気よく治療に来てくれた若い獣医さん達がいる
負担をかけてしまいが協
力してくれる家族がいる
「微力ながら牛達のために」
ガンバル私である

5月7日「リーダー、牛舎に戻る」

「よく頑張ったな、リーダーん」

以下のとおりとなっています。

集落長	山崎 浩二
副集落長	永野 正洋
会 計	富永松太郎
監 事	中村 教
幹 事	浮川 優
	藤倉 紀夫
	望月 英彦
	西川 寛稔
	内藤 宏幸
	内山 琢夫



6月7日、共和育成牧場において平成23年度JA中春別乳牛共進会が開催されました。

愛牛と待望のシヨウリンダ



JA中春別乳牛共進会が開催

開催に先立ち、牛魂祭及び農作業安全祈願が行われ、参加者による玉串奉奠が執り行われました。

当日は、天候にも恵まれ43頭（未經産牛28頭、経産牛15）が出品され、1年ぶりの共進会ということで手塩にかけて育てられてきた愛牛達が各クラスにおいてレベルの高いシヨウとなりました。

審査員には、ジェネテイクス北海道道東事業所業務課長の人見智亮氏があたり、厳正な審査のもと丁寧な審査講評に多くの来場者や、出品者の方々も真剣に聞き入っていました。会場には、マリールージュやサルビアなどたくさんのお花が飾られ、鮮やかに彩られた場内で、未經産牛から経産牛の審査が行われました。今年は、平日開催になってしまったためジュニアリードマンシヨウは行われませんでした。女性リードマンシヨウにお



いては堂々たる姿で審査員を直視し審査員を魅了していました。

その他には、青年部によるサイコロステーキ、骨付きソーセージや女性部によるミルク豚汁の無料配布もあり、心も体も温まる会場にはいつも笑顔が絶えませんでした。

共進会終了後は、花の格安販売が行われ会場は終始賑わっていました。

昨年は、宮崎県での口蹄疫の発生により、当地区としても各事業やイベントが自粛してきた中、今年3月には東日本大震災による甚大なる被害があり、全日本ホルスタイン共進会についても開催中止となり残念な結果になりましたが、当



農協からも復興への祈りを込めた共進会となったような気がします。1年ぶりの開催ということで各出品者の皆さんは、待望のシヨウを一步一歩踏みしめながら愛牛をリードしていました。

出品された皆さんには、春の共進会シーズンも一段落されたと思いますが、8月上旬から開催されるこれからの共進会での活躍をお祈り致します。



平成23年度 JA中春別乳牛共進会最高位一覧表

出品番号	名	号	出品者
1001	シニア チャンピオン	YMD ソブリン ダビューク RED	山田 博和
801	リザーブ チャンピオン	ライプリー スポツテイー アドベント	山田 晃嗣
204	ジュニア チャンピオン	ライプリー K ジヤスパー リル ET	山田 光男
208	リザーブ ジュニア チャンピオン	プレザント ルーテイ ゴールド メダリスト	中西 貴司

最多出品者賞 6頭 山田 博和牧場

最優秀レディースリードマン 浮川 優子さん(浮川 優牧場)12人参加

平成23年度 JA中春別乳牛共進会成績(1等1席)

出品番号	名	号	生年月日	父	牛	出品者
107	YMD リディア ジヤスパー クイーン ET		2010/9/24	ウイルコックスビュー	ジヤスパー ET	山田 博和
204	ライプリー K ジヤスパー リル ET		2010/8/3	ウイルコックスビュー	ジヤスパー ET	山田 光男
301	エレベーション ブレーク レーン		2010/5/1	パームクレスト	ブレークアウト ET	佐々木靖裕
402	マダム サンフラワー モーテイー		2009/12/15	スコーターラン	デルタ サンフラワー	門間 賢人
501	スウィートブライアー リフレ ダツシュ		2009/11/14	レーガンイングランド	ダイオン ET	竹田 潤
603	スウィートブライアー グエン プレス		2009/7/14	サンデイバレー	ブルーブラット ET	竹田 潤
702BU	ライプリー ブレーク フラテイシヤス フタゴ		2009/2/10	パームクレスト	ブレークアウト ET	山田 晃嗣
801BU	ライプリー スポツテイー アドベント		2007/11/17	KHW カイト	アドベント RED ET	山田 晃嗣
902BU	YMD モント スカイ ルビー ET		2006/12/15	ドナンデール	スカイチーフ ET	山田 博和
1001BU	YMD ソブリン ダビューク ユリア RED		2006/5/4	ヘブリー	ダーハム ダビューク ET	山田 博和



天候にも恵まれ、最高の旅行になりました！

中春別農協年金友の会（会長・渡邊栄顕）では、5月24日～26日の2泊3日で東藻琴、滝上、上湧別へ芝ざくら、チューリップ見学に参加者17人で行ってきました。



当地域は、中々気温が上
がらず寒い毎日が続いてい
ましたが、峠を越えると木々
や草花の色が見違えていま
した。

1日 東藻琴の芝ざくら
も満開で、眩しいく
らいの美しさ。観覧バスに
乗り込み堪能。

昼食後、網走監獄へ。ガ
イドさんに「しっかりと勤
めし、帰ってきてね」と声
かけられ見学し、宿泊先の
サロマ湖鶴雅リゾートホテ
ルへ。



網走監獄を見学、しっかりとお勤めました

豪華食事を食べ、お酒
も入り、恒例のカラオケ
大会へ突入。その後は、
温泉に行く人、歌い足ら
ず2次会へ行く人で、そ
れぞれサロマ湖の夜を過
ごしました。



今日もおいしくお酒をいただきました

2日 ホテルを出て、滝
上町芝ざくら公園へ。
朝から気温もあがり、満開
の芝ざくらを散策。

昼食後、上湧別のチュ
リップ公園へ。120万本

の各種類の色鮮やかチュ
リップが満開で、私たちが
迎えてくれました。
宿泊先の温根湯温泉では、
ゆつくりくつろいでいた
き、宴会では女性陣から男
性陣の歌が少なくと激が飛
び、踊りにチークダンスに
男女の対抗戦へ（軍配は両
者引き分け）。

3日 最終日。中春別へ
の帰りのバスの中
は、皆口々に「素晴らしい
天候に恵まれ、会長さん、
事務局の精進の賜物」と声
かけられ（ちよっと照れる）、
本当に、天候に恵まれ（参
加者皆様の精進の賜物）、楽
しい旅ができました。

これから、農繁期に入り
ますので、健康、事故等に
は充分留意され、また年金
友の会の行事で元気にお会
いしましょう。

最後になりましたが、会
長はじめ参加者の皆様のご
協力で楽しい旅行になりま
した。また、旅行を企画し
ていただいた農協観光さん、
太平洋交通のドライバース
さん、ガイドさん大変お世話
になりました。

多くの参加者で和やかな雰囲気の中、 新役員が決まりました

中春別農協年金友の会（会長・渡邊栄頭）では、6月10日（金）に第27回通常総会を行いました。本総会には昨年より多く、91人の会員の方々が出席してくださいました。

開会にあたり、渡邊会長より挨拶をいただき、続いて小湊組合長、北海道信連釧路支所JAバンク推進課の山崎豊様よりご祝辞をいただき、本総会が開催されました。

議事進行にあたって、議長には豊原地区の望月富智男さんに就任していただきました。

今年は役員改選ということもあり、各地区から選ばれた役員の中から互選により各役職を決める運びとなりました。今回、多くの役員が入れ替わった中で、新会長に就任した中春別地区の高橋昌晴さんからユーモアたっぷりの挨拶があり、会場を盛り上げていました。その後も望月議長によるスムーズな進行のもと、出席

者全員の賛成をもって無事終了しました。

その後、昼食を挟んで毎年恒例の春季スポーツ交流会へと移りました。朝から天候が悪く雨天中止もささやかれましたが、多少肌寒い中、無事に交流会をスタートすることができました。パークゴルフ、ゲートボールともにプレーしている皆さんからは元気な声と笑顔があふれ、またプレーに対する意気込みからは若さが伺えるほどハツラツとプレーしていました。

最後になりますが、総会、スポーツ交流会ともに会員の皆様にはたくさんのご参加をいただきありがとうございます。また次回の行事もたくさんのご参加をお待ちしております。





子どもたちが待ちわびていた中春別小学校運動会が、6月11日(開催されました。昨年にも続き天候にも恵まれての開催となり、お父さん達も場所取りに張り切って家を出たのではないのでしょうか？夏を思わせる暑さの中、子どもたちは元気に選手宣誓。ラジオ体操で体をほぐした後、競技に移ります。1年生から6年生までが挑む徒競走では全力で走る子供たちの姿、それをまだかと待つ子供たちからも熱意が感じられました。親子で行う競技では、観客席から声援に混ざり笑い声が上がったりと終始大盛り上がり。お風になるとお腹を空かせた子供たちは一目散に家族のもとへ向かい、お母さんの作ったお弁当でお腹を満たしました。

午後からは、運動会の定番である綱引き、リレーが行われ、家族たちの声援の中、自分の勇姿を見せようと日頃の成果を十分に発揮しました。優勝は赤組となり、運動会は閉会となりましたが、惜しくも優勝を逃した白組さんの皆さん、来年の運動会も表彰を目指して頑張ってください。

家族の声援をうけ 子供達もハツラツと！





地域一丸となった 運動会



旧豊原小学校にて、豊原地区の運動会が6月4日(土)行われました。当日は天候に恵まれ、温かい日差しを浴びながらの開催となりました。

運動会には園児からお年寄りまでを対象に競技が行われ、保育園児のかけっこ、小学生から一般の100M走から始まりました。大玉を転がしたり、縄跳びをしながら走り小学生の子供たちからお父さんお母さんたちへとリレーをつないでいく「パイレットレース」。アンカーのお父さんたちがゴール手前見せた接戦には思わず観客たちの応援にも熱が入ります。園児たちの遊戯「きせつりよこご」では、全員がバルーン持ち楽しそうに踊る園児が可愛らしく、カメラ片手に見守るお父さんお母さんのほか、賞品係のおじいちゃん、おばあちゃんまでが「がんばれ!」と見入ってしまうほどです。そのほか「借り物競争」や「玉入れ」、「パン食い競争」などの競技でひと汗かいた後、親子で参加の「とよはらの魂」、園児達の「ごほうびなあに」で運動会は終了し、お昼からの懇親会ではみんなで美味しいお肉を囲み楽しいひとときを過ごしました。



営農対策情報

根室農業改良普及センター

夏場の環境性乳房炎を防ごう！

ポイントをおさえて管理を強化しましょう

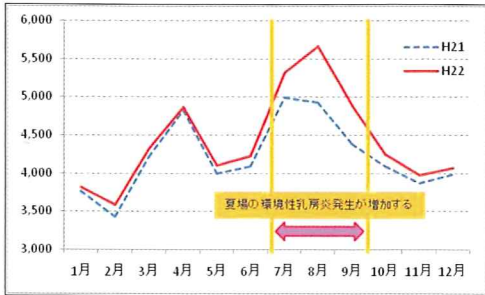


図1 根室地区 NОSAI組合員による環境性乳房炎の初診件数 (H21~22) ※併発疾病は除外、一部伝染性の連鎖球菌を含む

1 環境性乳房炎とは

環境性乳房炎は、伝染性乳房炎に比べ感染力は弱いですが、原因菌は土壌や牛体、糞尿に常在しているため

再確認

今回は夏場に多発する環境性乳房炎を防ぐための飼養管理のポイントを再確認しましょう

Iデータより。

今回は夏場に多発する環境性乳房炎が多発しました(図1 根室 N O S A I データより)。

乳牛の体力や免疫力が低下し、環境性乳房炎が多発しました(図1 根室 N O S A I データより)。

根室地区では例年7月から環境性乳房炎が増えてきます。この時期は気温や湿度が高く、乳牛のストレスが大きくなります。昨年は猛暑の影響もあり、

(ポイント1)
ア 牛舎内の換気を良くし、牛床を乾かす(写真1)
イ 牛床の除糞、手入れの回数を増やす
ウ 綺麗な敷料を乳房周辺に入れ、乳房を汚さないようにする

環境性乳房炎の原因菌を増やさないためには、牛床を清潔で乾燥させることが基本となります。以下のような日常の管理を強化しましょう。

(1) 飼養環境はクリーン & ドライを心がけて！
 乳房炎の原因菌を増やさないためには、牛床を清潔で乾燥させることが基本となります。

2 飼養管理と搾乳作業の再確認

表1 乳房炎の主な原因菌

環境性乳房炎 ・環境性連鎖球菌(OS) ・大腸菌	など
伝染性乳房炎 ・黄色ブドウ球菌(SA) ・無乳性連鎖球菌(SAG) ・マイコプラズマ	など

場からなくすることは難しいです(表1)。
 環境性乳房炎の原因菌を増やさないよう、牛舎内の気温や湿度をコントロールすることが大切です。

(ポイント2)
ア 乳頭の汚れを拭き取り、プレディップングで殺菌し乳頭口までしっかりと清拭する
イ ライナーズリップを防ぐため乳頭が乾いてからミルカーを装着する
ウ ポストディップングで乳頭口の保護をしっかり行う(写真3)

イ ライナーズリップを防ぐため乳頭が乾いてからミルカーを装着する

ウ ポストディップングで乳頭口の保護をしっかり行う(写真3)

(2) 搾乳作業では乳頭口から菌を侵入させない！
 搾乳時、乳頭口から乳房炎の原因菌を侵入させないよう、搾乳前に乳頭、乳頭口の汚れをしっかりと取り除くことが大切です。

以下のようない搾乳作業を心がけ、菌の侵入を防ぎましょう。

イ 乳頭の汚れを拭き取り、プレディップングで殺菌し乳頭口までしっかりと清拭する

ウ ポストディップングで乳頭口の保護をしっかり行う(写真3)

エ 乳頭口が閉まるまで寝かせない、外に出さない(搾乳後15~30分)

オ 牛床に衛生資材(クリーンサポートやエスカリウなど)を散布利用する(写真2)

カ 泥濘化しやすいパドックや牛道の整備を心がけ、牛体を汚さないようにする

飼養管理と搾乳作業を見直し夏場の環境性乳房炎を予防しましょう。



写真3 ディッパーで乳頭全体を薬剤に浸し、しっかりと保護する



写真2 牛床の半分から後方に衛生資材を散布する



写真1 可動式扇風機などを利用し牛床や通路を乾燥させる



6月1日(水)〜3日(金)にかけて生活クラブ組合員の一政伸子さん、米山有子さん、清水友美さんがそれぞれ東京都神奈川県から訪問し、豊原地区・奥山さん宅にて酪農体験されました。

1日目 訪問された3人はオリエンテーションを行い自己紹介。農協・友貞営農生産部長より中春別農協の組合員戸数、牛の頭数や生乳生産数量などの説明を受けた後に豊原地区・奥山さん宅へと向かいます。

奥山家のご家族とあいさつを交わし、早速、牛舎の中を案内していただきました。どのような場所で牛が育っているのか、どのようにして牛乳が生産されているのか、興味津々の3人。夕食の時

酪農体験 生活クラブ

どのようなところで牛が育てられ、牛乳が生産されているか

間には外で焼肉を行い、交流を図りました。大人数で囲む焼肉に舌鼓を打ち、夜には夢伝承館に宿泊し明日の実習に備えました。

2日目の朝 朝5時から実習開始。子牛の哺乳、寝床の掃除、搾乳作業などの体験を終え、夢伝承館で休む3人。「ミルクを飲む子牛可愛か



つたです。搾乳では牛一頭一頭の乳頭の位置が違ったり、性格が違っていてミルクカーを嫌がる牛には申し訳なかつた」と感想を語ってくれた体験者ですが、「皆さん筋がよくて、積極的に働いてくれます！」と奥山さんは話してくれました。午前の牛舎仕事を終えた3人は、夢伝承館でチクレン肉の試食として友貞部長お手製の力

レー、奥山さんからは搾りたての牛乳、特製カルピス、牛乳ゼリーなど生乳生産者が直接お届けする料理に3人は関心を持ち、作り方を質問する姿も見受けられました。

試食会の後は天気がいいこともあり急遽、道東の観光スポット摩周湖へと向かいました。世界

2位の透明度を誇る摩周湖は、別海町の水道水の水源でも牛も同じ水を飲んで育っています。その摩周湖を見ていた

台につくと霧は晴れていて、幸いにも湖を見ることが出来ました。湖から吹き流れる風は冷たく、少し肌寒く感じられましたが断崖絶壁の景色にも3人は圧倒されました。



それから、奥山家に戻るとすぐに

仕事に取り掛かります。1度作業を行っているので手際が良く作業をこなしていました。

3日目 朝の作業を終え、帰宅の準備をする3人。せっかくなので中標津では開陽台に寄り、「地球が丸くみえる」と言われる景色と、広大な大地で牛がのびのびと草を食べている様子も見ていただきました。

消費者に牛乳・乳製品、牛肉がどのような場所で生産されているか関心を持ち、見ていただけたことが今後の消費拡大につながればと思います。

乾乳牛が多い 今時期からの暑熱対策を！

J A 中春別
経営相談課

根室の夏は涼しいという

イメージがありますが、牛は気温20℃以上で暑熱ストレスを感じます。根室でも暑熱対策は必要です。気温が高くなるにつれ、牛の飲水量は増加し、キレイな水をたつぷりと飲める環境を整えることがこれからの季節は重要です。

昨年夏の猛暑の影響により、今年は夏に分娩が集中します。乾乳牛が多い今時期からの暑熱対策でこの夏を乗り切りましょう！

※地区内の分娩予定頭数

- 5月一、〇四〇頭
 - 6月一、一六三頭
 - 7月一、五八八頭
 - 8月一、六五五頭
 - 9月一、六七八頭
- 7月から分娩頭数は1・5倍になります。乾乳後期からの管理が大切です。

暑熱時の対策

水 ウォーターカップ・水槽をキレイにしましょう。牛が「いつでも」「自由に」「きれいな」水を十分に飲めることが重要です。人も暑いときは水分補給が必要ですが、牛も同じです。放牧地の給水車や水槽の設置も非常に有効です。



餌 サイレージの2次発酵が懸念されます。サイレージ取り出し回数は1日2回以上とし、腐敗部分は積極的に廃棄しましょう。給与回数やエサ寄せ回数を増やして、涼しくなる夕方か

ら夜間に給与量を増やし、重曹やビタミン剤などを使って暑熱ストレスからのダメージを軽減しましょう。エサを食べないと夏バテして疾病発生が懸念されます。

換気

牛舎内の換気扇をガンガン回しましょう。トンネル換気でない場合は、牛舎の窓も外しましょう。牛は暑がりです。牛は肩から首の部位が一番涼しさを感じます。昼間の換気も重要ですが、牛の体温は夕方から真夜中にかけて上昇します。夜間も換気をして牛を冷やしてあげましょう。



大きくなって帰っておいで〜 共和育成牧場入牧



毎年行っています夏期預託牛の入牧が6月2日(木)に共和育成牧場にて行われました。

当日は快晴とまではいかなかったですが雨が降ることもなく、早朝より家畜車により、元気いっぱいの子牛やおとなしい牛など様々な入牧牛が共和育成牧場に集められました。集められた牛

は個体識別番号とネック番号を確認し、消毒後、授精牧区毎に振り分けられました。新鮮な牧草をたくさん食べて、のびのびと暮らした牛たちが一回りも二回りも成長し、秋の下牧の時に組合員のもとへ帰っていくことでしょう。

新職員の紹介

3カ月間の試採用期間を終え、7月1日付けで新採用となった職員をご紹介します。



営農生産部
畜産販売課畜産指導係
井上 拓也

授精師の資格を取得し、中春別農協に採用させていただきました。

この度、中春別農協畜産販売課畜産指導係として配属させていただきましたことになりました井上拓也です。今年の3月に帯広畜産大学別科を修了し、在学中に人工

く応えられるよう頑張っていきたいです。

まだまだ未熟な私ですが、農協職員として組合員の皆様力になれるよう、勉強することはまだまだ山積みですが、一生懸命頑張っていきます。これからよろしくお願い致します。

退職のご挨拶



営農生産部
畜産販売課畜産指導係
田村 博明

この度、平成23年6月30日付けで退職致しました。

平成19年11月から人工授精師として採用され、3年8カ月が経ちました。分からない事が多く、組合員の

皆さまを始め周囲の方々に大変ご迷惑をおかけしたことを思います。たくさんのご指導、ご協力をいただき本当に有り難うございました。これからは、農協での経験を活かし頑張っていきたいと思えます。短い間ではありましたが大変お世話になりました。

最後に皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



森を育て、川をきれいに、海を豊かにしよう

別海町植樹祭

例年行われております別海町植樹祭が5月28日(土)開催され、農協から7人、青年部1人が参加いたしました。植樹祭は別海町尾岱沼で開催され、農林漁業関係者と一般町民の大人から子供までが参加し、イヌエンジュとヤチダモの木、約1100を植えました。植樹は1時間半程度で終了しましたが、笹やぶの中に木1本植えるのに一苦労する作業で、今回植樹した木がこれから大きく育っていくてくれればと願っています。



- ①名 前……奥山 明範
- ②生年月日……昭和60年10月14日
- ③みらい塾に応募したキッカケ……将来のため
- ④趣 味……寝る事
- ⑤好きな言葉…協力
- ⑥将来の夢……子供の為にできることをやっておきたい。
- ⑦みなさんに一言

何もわからない自分ですが、これからも頑張っていきますので、宜しくお願いします。

第3期みらい塾 受講生の紹介

えーっ!

野焼きって犯罪なの?!



平成13年4月から、基準に従わない野外での廃棄物の焼却には厳しい罰則が適用されています。野外焼却は、煙、すす、悪臭により周囲の人に迷惑をかけるだけでなく、ダイオキシン類や塩化水素などの有害物質発生の原因となります。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(焼却禁止)

第十六条の二 何人も、次に掲げる方法による場合を除き、廃棄物を焼却してはならない。

一 一般廃棄物処理基準、特別管理一般廃棄物処理基準、産業廃棄物処理基準又は特別管理産業廃棄物処理基準に従って行う廃棄物の焼却

二 他の法令又はこれに基づく処分により行う廃棄物の焼却

三 公益上若しくは社会の習慣上やむを得ない廃棄物の焼却または周辺地域の生活環境に与える影響が軽微である廃棄物の焼却として法令で定めるもの

第五章 罰則

第二十五条 次の各号にいずれかに該当する者は、五年以下の懲役若しくは千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。

一～十四 (略)

十五 第十六条の二の規定に違反して廃棄物を焼却した者

十六 (略)

2 前項第十二号、第十四号及び第十五号の罪の未遂は罰する。

第三十二条 法人の代表者又は法人もしくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人または人の業務に関し、次の各号に掲げる規定の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人に対して当該各号に定める罰金刑を、その人に対して各本条の罰金刑を科する。

罰則は…5年以下の懲役、1000万円以下の罰金、又はこの併科 他の罰則と比べると 例えば
スピード違反 6か月以下の懲役又は10万円以下の罰金(道路交通法第118条第1項)
酒酔い運転3年以下の懲役又は50万円以下の罰金(道路交通法第117条の2第1項)
脅迫罪 2年以下の懲役又は30万円以下の罰金(刑法第222条第1項)
贈賄罪 3年以下の懲役又は250万円以下の罰金(刑法第198条)
などよりも、重い罪になります。

配合飼料コスト低減対策プロジェクトによる 植生調査及び収量調査の実施

配合飼料コスト低減対策プロジェクトとは、その名前のとおり配合飼料のコスト低減を目的とし、良質な自給粗飼料を確保するための取組を行うプロジェクトであります。

今年度より、プロジェクトが本格的に始まり6月8日に植生調査、6月20日には収量調査を実施しました。

植生調査については、永年草地を対象に16戸の組合員の圃場を農業改良普及センター、農協とで植生調査を実施しました。調査についてはマメ科の割合や雑草割合、裸地の割合を調べ10段階

で評価を行いました。

収量調査については、植生調査を行った圃場の中で主力草地になると思われる草地を中心にイネ科の草丈の調査、坪刈り調査を実施し、収量、乾物収量、乾物率を調査しました。

今後プロジェクトでは、今回の調査を踏まえ土壌分析を行い、分析結果に基づいた施肥の散布、永年草地の草地改良の推進を行っていきます。





生乳情報

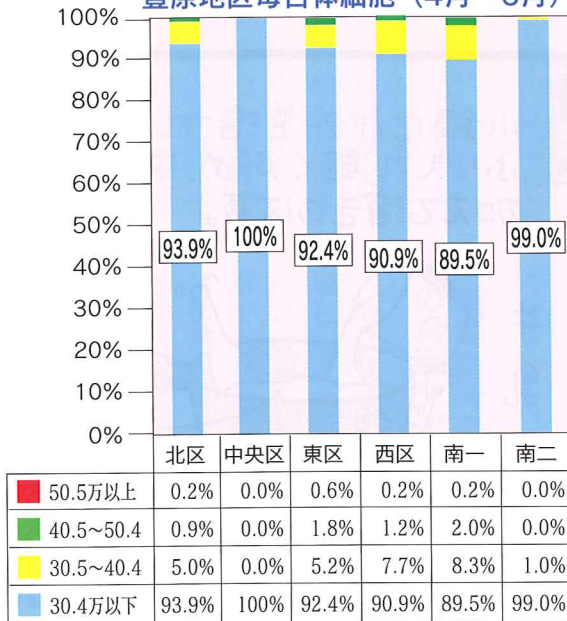
平成23年6月30日現在

生乳汚染事故を無くそう！

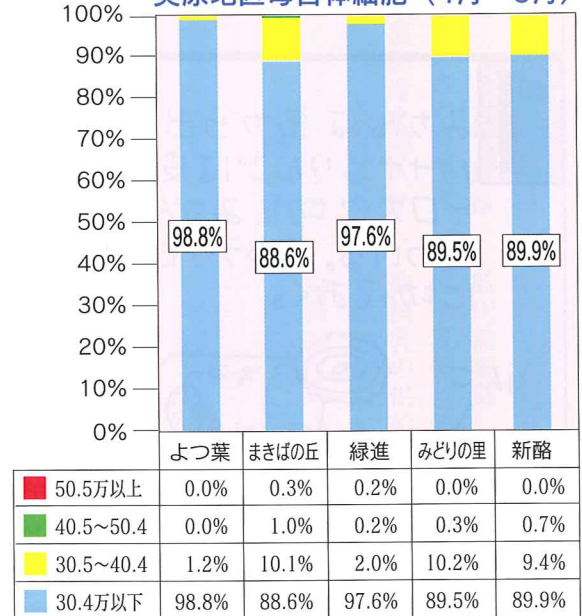
- 抗生物質混入事故……JA中春別発生件数 0件 管内では 1件の発生です。
- 生菌による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 0件です。
- 異物混入、異臭、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件です。

自動洗浄は万全ではありません！
洗浄終了後、定期的に目視で確認を……

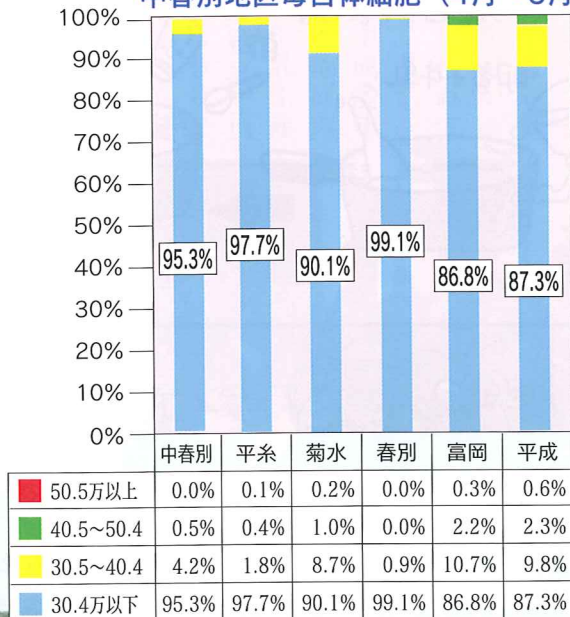
豊原地区毎身体細胞（4月～6月）



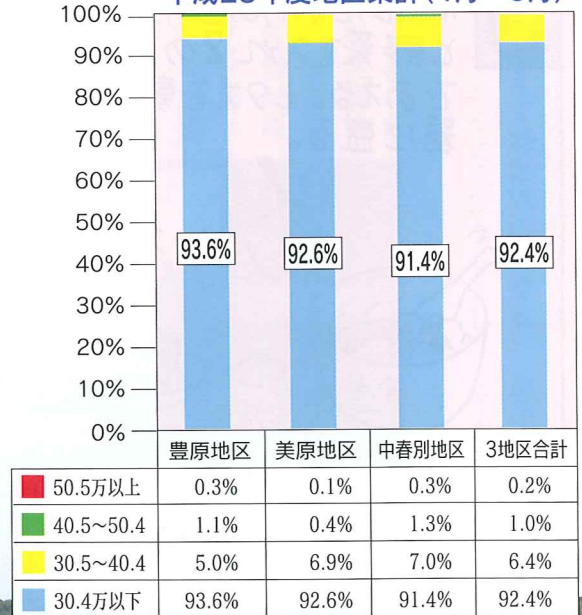
美原地区毎身体細胞（4月～6月）



中春別地区毎身体細胞（4月～6月）



平成23年度地区集計（4月～6月）





4人分

サラダ

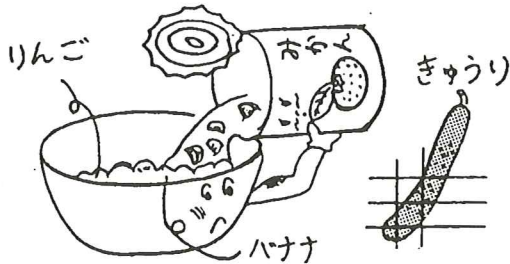


みかん(缶詰).....1/2 缶
 バナナ.....1 本
 リンゴ.....1/2 個
 きゅうり.....1 本
 レタス.....葉4枚

バター・小麦粉.....各大さじ2
 牛乳.....1 カップ
 卵黄.....1 個
 塩.....少々
 酢.....大さじ1
 レモン汁.....1/6 個分

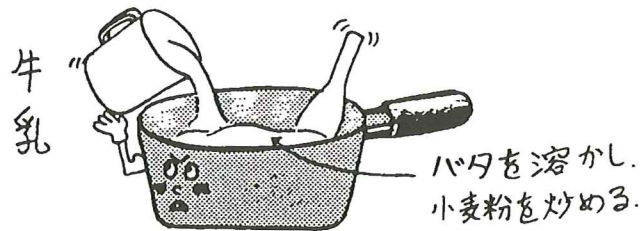
1

みかんは缶から出す。バナナとリンゴは皮をむいて一口大に切り、みかんのシロップにつける。きゅうりも同じように切っておく。



2

小鍋にバターを溶かして小麦粉をふり入れ軽く炒め、牛乳を少しずつ加えて溶きのぼす。

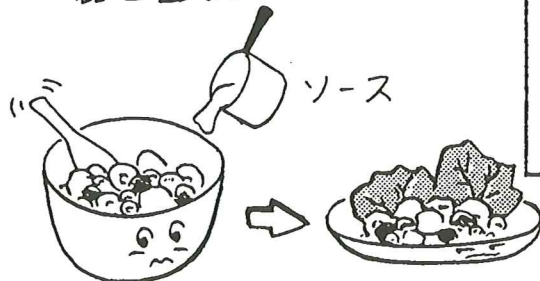


卵黄に牛乳を少量加えて溶き先の鍋に加えてとろりとあるまで混ぜ、あら熱がとれたら塩と酢を加えて混ぜ冷ます。



3

ボールに水けのきった果物と野菜を入れ2のソースであえる。レタスを敷いた器に盛る。



ダイゴミの語源****

*****. Eいじ*****. 4000年ほど前、お釈迦さまが村の乙女からさし出された「醍醐」を飲んで悟りを開いたという話があります。この醍醐は牛乳を濃縮した液体チーズのようだったそうです。油があまりにもおいしかったので、何事にもかえがたいおいし。ひいては、この上ない最高の楽しみのことを「醍醐味」というようになったようです。

議案

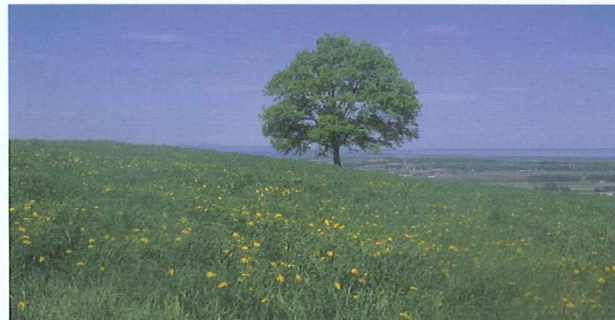
1. 平成22年度行政庁業務報告書の提出について
2. 平成23年度理事報酬額の配分(案)について
3. 平成23年度役員報酬の支給時期について
4. 平成23営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
5. 平成23年JA中春別生乳計画生産に係る生産者配分の基本方針について
6. 別海町農業委員の推薦について

報告事項

1. 組合員の加入について
2. 北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
3. 生産性向上整備助成要領の拡充について
4. 平成23年度5月末営農生産関連実績について
5. 道委員会・関連団体等役務就任状況について

協議事項

1. 平成24年度農林水産予算概算要求に係る酪農畜産政策・価格対策 組織討議(案)について



5月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差
乳脂肪分		761.112		29.90	29.35	0.05
無脂乳固形分		480.673		42.10	41.07	1.03
補給金		4.7910		4.79	5.25	-0.46
計画チーズ奨励金						
乳質単価	生菌数	ランク1 2	319,607,929.8kg	3.72	3.74	-0.02
		ランク2 0	7,458,979.1kg			
		ランク3 -3	172,776.3kg			
	体細胞数	ランク1 2	279,237,796.7kg			
		ランク2 1	26,215,545.8kg			
		ランク3 -2	3,722,048.6kg			
合計				80.51	79.41	1.10

5月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg)%
乳脂肪分①	29円90銭
無脂乳固形分②	42円10銭
補給金③	4円79銭
チーズ奨励金④	
脂肪率	全道 3.93%
	農協 4.03%
無脂固形分率	全道 8.76%
	農協 8.74%
成分乳価	全道 76円79銭
①+②+③+④=⑤	農協 77円48銭
乳質乳価⑥	全道 3円72銭
	農協 3円66銭
乳代合計	全道 80円51銭
	農協 81円14銭
⑤+⑥	差異 63銭



チャンタ
です



楽しい家族と一緒に

千葉さん家のトラ・クロ・チャンタちゃん

中春別地区・千葉 悟さん家

トラ(2カ月)・クロ(2カ月)・チャンタ(3才)

猫・雑種 性別・全員オス

★**飼い始めたきっかけ** トラとクロは牛舎で生まれていました。前は家にも猫がいたのですがいなくなってから寂しくなり、その時に牛舎で生まれていたチャンタを家に連れて飼っています。

★**名前の由来** トラとクロは見たままで、家に来ていた実習生が名前を付けていきました。チャンタは悟さんが最初に「茶太郎」という名前つけ、呼んでいるうちに「チャタ」になり、「チャンタ」と呼ばれるようになりました。

★**好きなこと(もの)はなんですか?** クロは人が好きです。人懐っこいので牛舎に来た人のそばによったりします。

トラは猫じゃらしで遊びますが、動きが鈍いので猫じゃらしについていけません。

チャンタはホッケが大好き。

★**得意技** チャンタは猫じゃらしで遊ぶと「もっと遊んで!」と持ってきたり、自分で戸をあけて脱走するのが得意。あおむけでいびきをかいて寝ます!

★**最後に一言** チャンタへ、玄関を開けたらしめてください。

編集後記

▼先月に開催されました中春別農協第37回通常総会にて表彰された優良組合員、乳質改善、良質乳生産組合員、経営移譲感謝状授与者、永年勤続職員のみなさま、おめでとうございます。

総会では全議案が可決承認され、併せてT P P参加阻止の特別決議を総会参加者全員の賛成により決議されました。平成23年度基本方針・重点項目、また、特別決議しましたT P P参加阻止について取り組んで参ります。

▼また、3カ月の試採用期間を終え7月1日付にて本採用となりましたフレッシュな新人を紹介しました。今後、農協、または組合員のため若い力をフルに発揮してほしいと思います。

▼6月下旬に入り良質粗飼料確保のため、一番草収穫作業がスタートしたと思います。日々の仕事に加え収穫作業が重なり疲労、負担が蓄積されてきていることと思います。くれぐれも事故には気を付けてください。